

2011年度

科目名	日本文学史Ⅱ				
担当教員	浅尾 広良				
配当	日文2			コード	13027
開期	前期	講時	月曜日3限	単位数	2
授業テーマ	前期物語文学史―異境を中心として―				
目的と概要	文学を深く理解するためには、一つの作品を取り上げて読むだけでなく、他の作品との関係の中で意味を考える必要があります。作者はそれ以前の作品を常に意識しながら書いているので、〈文学史的な視点〉を導入することで、その意図がより鮮明となるのです。 この授業では、物語文学を深く読み込むことを目標とし、物語文学が成立してくる神話の時代から平安時代中期に『源氏物語』が出来てくるまでの前期物語文学を対象とし、「異郷」を中心に据えて各作品を見ていきます。 物語文学史を考えるにあたって重要なのは、「異境」の存在です。物語の祖と言われる『竹取物語』は異境の喪失をテーマとしています。いわば物語文学は、異境を喪失するところから始まるのです。それ以降の物語は、喪失した異境をどのように物語の中に内在させるかがテーマとなっていくます。神話世界の話から始まり、『竹取物語』を経て、『伊勢物語』および『源氏物語』がどのように異境と向き合うのかを一緒に考えてみましょう。				
成績評価法	学期末試験(80%)、毎回授業の最後に行う確認小テストおよび授業への取り組む姿勢(20%)を総合して評価します。				
テキスト	授業時にプリントを配布します。				
参考書	授業時に適宜紹介します。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	(注意)授業時に居眠りや内職を繰り返す場合は授業放棄と見なし、欠席扱いとします。また、私語がひどい場合も注意は2度までとし、3度目からは授業妨害として学期末試験の受験資格を失うこととします。当然のことながら、授業中の飲食は厳禁です。 (助言)それぞれの作品が前の作品をどう意識して取り込み、またズラしているのかに注意して授業を聞いて下さい。時間的な制約があり、授業ではすべてを読むことはできません。興味をもったら是非自分で読んでみましょう。 (準備学習)前回やった内容を必ず確認して授業に臨んでください。				
講義計画					
1 オリエンテーション(オリエンテーション・授業の進め方ガイダンス)					
2 異郷訪問譚の文学史…「異郷とは何か」「異郷訪問譚の基本形」 (『日本書紀』・『丹後国風土記』・『万葉集』)					
3 異人來訪譚の文学史…「異人來訪譚の基本形」 (『万葉集』・『近江国風土記』・『丹後国風土記』)					
4 異類婚姻譚としての異人來訪…(『古事記』三輪山神話 他)					
5 『竹取物語』講読(1)…冒頭場面・異人來訪譚的側面					
6 『竹取物語』講読(2)…昇天場面①・異郷訪問譚的側面					
7 『竹取物語』講読(3)…昇天場面②・異郷とこの世の断絶					
8 『伊勢物語』の特徴…歌語り・書名の由来・作者・主人公					
9 『伊勢物語』講読(1)…初段					
10 『伊勢物語』講読(2)…二条后譚					
11 『伊勢物語』講読(3)…東下り譚・伊勢斎宮譚・現世における異郷訪問					
12 『源氏物語』講読(1)…桐壺巻・光源氏と藤壺の異郷的資質					
13 『源氏物語』講読(2)…若紫巻・「海龍王の娘」					
14 『源氏物語』講読(3)…須磨流謫・六条院と「異郷」					
15 全体のまとめ					